愛知東邦大学　シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	専門演習Ⅱ		
担当者(Instructors)	武 寛子	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

社会における教育の様々な課題(貧困、多様性、人権など)について取り上げ、その背景について理解を深め、解決のためにいかに行動することができるのかを考察する。関連する分野の先行研究を読み、それぞれに発表を行う。選定した教科書において、各自、興味のある事例を選び、研究発表を行う。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	演習形式で行う。ディスカッションおよびグループワークを取り入れ、文献の輪読や研究発表を行う。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	授業概要の説明	授業の概要を説明し、ゼミの方向性を確認する	□
第2回	文献収集および意見交換	発表に関する文献の紹介および検索	□
第3回	文献収集および意見交換	レポートに関する文献の紹介および検索	□
第4回	発表の方向性に関する確認	各自の興味関心について確認を行い、学生間で交流を行う	□
第5回	研究報告①	研究計画に沿って、担当者ごとに発表を行う	□
第6回	研究報告②	研究計画に沿って、担当者ごとに発表を行う	□
第7回	研究報告③	研究計画に沿って、担当者ごとに発表を行う	□
第8回	研究報告④	研究計画に沿って、担当者ごとに発表を行う	□
第9回	研究報告⑤	研究計画に沿って、担当者ごとに発表を行う	□
第10回	レポートに関する中間確認	レポートに進捗状況について共有し、学生間で交流を行う	□
第11回	レポート報告①	研究計画に沿って、担当者ごとに発表を行う	□
第12回	レポート報告②	研究計画に沿って、担当者ごとに発表を行う	□
第13回	レポート報告③	研究計画に沿って、担当者ごとに発表を行う	□
第14回	レポート報告④	研究計画に沿って、担当者ごとに発表を行う	□
第15回	まとめ	各自の研究成果のまとめと意見交換	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

これまでの調査・研究の成果をレポートおよび発表で示せるように準備しておく。（２時間）授業内での気づきや課題を調べる。（２時間）

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

研究成果を報告するためのレポート課題を実施する。レポートの内容を確認後、より研究を深められるように自主学習の方法の提案や資料を提供する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◇ 2019子ども発達DP1	教育・保育現場における様々な課題について、社会的状況、家庭や子どもの多様性を踏まえて客観的に考察するための知識と資質を身につけている。

思考力・判断力・表現力	◇ 2019子ども発達DP2	社会における様々な課題への興味関心をもち、課題究明のための探求心をもって知識を備えることへの意欲を身につけている。
主体性	◆ 2019子ども発達DP3	多様な考えをもつ人との交流を通じて自己を理解し、主体的に他者と協働して問題を解決することができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
			70%	30%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

授業内で扱ったテーマについて自身の研究テーマを設定し、自分の考えをまとめ、レポートを作成する。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	必要に応じて授業中に指示する	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	必要に応じて授業中に指示する	
2		
3		
4		
5		